

令和 5年度

事務事業評価表 ( 令和 4年度 の実績評価)

記入年月日  
令和 5 年 4 月 17 日

事務事業名		歴史資料館運営・教育普及事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	020502000910
						単独/補助	単独	所属課	090701
政策体系		政策体系上の位置付け						文化財課	
総合計画の施策名		0205 文化財の保存活用						課長名	
政策名		02 生きがいを育む学びのまちづくり						グループ	
施策名		05 文化財の保存活用						担当者名	
手段名		02 ②文化財の活用						文化財G	
		財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目		会計	款	項	目	事業	細	一般会計	
		01	10	05	04	02	00	文化財保護事業	
法令根拠		桜川市文化財保護条例				単年度繰返し (平成17年度~)			
		【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)				期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

①事務事業の概要 (事務事業の全体像)		②担当者が行う業務の内容・やり方・手順			
手 段	桜川市の歴史や文化を中心にテーマを設け運営している。 1. 常設展 桜川市内の通史的な展示を市内各所からの豊富な出土資料を中心に、重要伝統的建造物群保存地区に選定された真壁の町並みや、登録有形文化財となっている建物などを、古写真や模型などを使って紹介している。合わせてそれらのルーツである中世の真壁氏と真壁城についても出土品や古文書等で紹介している。また、施設が建設された地下から発見された真壁陣屋の発掘成果も展示するとともに、敷地全体に遺跡の跡を表示している。 2. 企画展 (年1~2回程度) 3. 歴史講座の開催 (年数回) 4. 他市町村等からの依頼による歴史講座・文化財案内の実施 (年数回)		<ul style="list-style-type: none"> <li>企画テーマに沿って資料を収集、研究し、展示する。展示解説パネルおよび解説シート等を作成し、公開する。</li> <li>歴史講座を開催する。また、小学校等に出前授業を行う。</li> <li>他市町村等からの依頼に応じて歴史講座等を行う。</li> <li>市内歴史に関する資料を調査・収集する。</li> <li>市民や他市町村からの問い合わせに対し、調査を行い回答する。</li> </ul>		

②対象 (誰、何を対象にしているのか)							⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)					
市民							単位	03年度 (実績)	04年度 (実績)	05年度 (計画)	06年度 (目標)	07年度 (目標)
桜川市民							人	38,422.00	37,653.00	37,269.00	36,885.00	36,500.00
								0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
								0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)							⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)					
桜川市の歴史文化の紹介をし、見学者数を増やす							単位	03年度 (実績)	04年度 (実績)	05年度 (計画)	06年度 (目標)	07年度 (目標)
展示見学者数							人	200.00	19,276.00	20,000.00	20,000.00	20,000.00
								0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
								0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

③ 投入量 (事業費) の推移				03年度 (実績)	04年度 (実績)	05年度 (計画)	06年度 (目標)	07年度 (目標)	期間限定 総投入量
投 入 量	事 業 費	財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0		
			県支出金	千円	0	0	0		
			地方債	千円	0	0	0		
			使用料・手数料	千円	0	0	0		
			その他	千円	0	0	0		
			一般財源	千円	6,612	6,479	7,734		
	事業費計 (A)	千円	6,612	6,479	7,734				
	正規職員従事人数	人	3.00人	3.00人	3.00人				

04年度事業費 実績 (千円)				05年度事業費 予算 (千円)			
01 報酬	3,148			01 報酬	3,431	18 負担金補助及び交付金	971
03 職員手当等	593			03 職員手当等	680		
04 共済費	369			04 共済費	419		
07 報償費	113			07 報償費	100		
08 旅費	181			08 旅費	216		
10 需用費	285			10 需用費	484		
12 委託料	174			11 役務費	40		
13 使用料及び賃借料	628			12 委託料	410		
17 備品購入費	28			13 使用料及び賃借料	753		
18 負担金補助及び交付金	960			17 備品購入費	230		
合 計				6,479	合 計		7,734

④ 当該年度の実施内容		05年度の事業内容		06年度の事業内容		07年度の事業内容	
※年度ごとに事業内容を記入する		常設展 企画展 (年1~2回程度) 歴史講座の開催 (年数回) 他市町村等からの依頼による歴史講座・文化財案内の実施 (年数回)		常設展 企画展 (年1~2回程度) 歴史講座の開催 (年数回) 他市町村等からの依頼による歴史講座・文化財案内の実施 (年数回)		常設展 企画展 (年1~2回程度) 歴史講座の開催 (年数回) 他市町村等からの依頼による歴史講座・文化財案内の実施 (年数回)	

事務事業名	歴史資料館運営・教育普及事業	事務事業No.	20502000910	所属課	文化財課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
旧真壁歴史民俗資料館は昭和53年に開館した。その後、平成23年9月1日に真壁伝承館の一部である歴史資料館として新規開館した。新資料館では市内の文化財を紹介するために新たに常設展示室と企画展示室を設計し、常設展は年数回の小規模な展示替えをし、企画展は年2回程度の開催を行う予定である。合わせて歴史講座なども開催する。コロナ禍により講座が開催出来なかつたり開館日数が減少するなどしているが、動画配信の導入などにより新たな教育普及方法に取り組んでいる。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
企画展に対しては来館者より好評を得ている。入場者数も増えており、今後もいい展示をするよう求められている。歴史講座についても好評で、市内はもとより県外からの参加者も多く、扱ってほしいテーマの要望が寄せられている。					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 文化財保存・活用に繋がる。
有効性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 文化財は公共の財産であるため、市が当事業を行うのは妥当である。
効率性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 展示等を充実させ、周辺市町村との連携を図り、桜川市の魅力・独自性を再認識できるような展示や講座等を行うことで成果を向上させる。
公平性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 廃止した場合、他に代わる事業がなく、市民の要望に答えられない。
公平性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名
	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 他に類似の事業はない。
公平性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 最低限の事業費で行っている。増加が必要である。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 受益者は市民全体であり、公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨	今年度もコロナ禍により教育普及事業に大きな制限がかかった。展示準備等にかける時間・人数・事業費が少ない。特に他市町村から資料を借用する場合の費用がなく、予算要望をしていきたい。今後も適切な事業運営を行っていくとともに、地域や学校などとの連携を通して、市民からの要望に応えられるよう展示等を開催していきたい。																						
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																						
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 展示準備については、市民や学校、他の自治体との連携などにより、費用と時間の不足を補い、要望にも答えられるような運営手法を検討したい。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持			×	低下			×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上			○																				
	維持			×																				
	低下			×																				
(6) 事務事業優先度評価結果		①																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>